

第3回

稲築東中学校区 小中一体型校施設整備協議会

資料

令和元年10月31日

稲築東中学校区の現敷地内での改築について

凡 例		配置 A 案 (現校舎敷地に建設)				配置 B 案 (現校舎管理棟敷地に建設)							
(左図:改築計画) 〓 敷地境界線 〓 〓 既設校舎等 〓 〓 新設校舎等 ➡ 歩行者出入口 ➡ 車両出入口 (右図:移行計画) 〓 〓 既設校舎等 (工事中利用無) 〓 〓 既設校舎等 (工事中利用有) 〓 〓 仮設校舎等 〓 〓 仮設グラウンド 〓 〓 仮囲い ➡ 工事車両出入口	(改築計画) 	(移行計画) 駐車場、グラウンド 	(改築計画) 	(移行計画) 駐車場、グラウンド 									
	工事概略工程	工期 約2.5ヵ年 ★新校舎へ引越し	1年間 2年間 3年間 4年間	① 仮設校舎着工 ② 仮設へ引越し ③ 解体工事着工 ④ 改築工事着工 ⑤ 新校舎引越し ⑥ グラウンド造成着工 ⑦ 竣工引渡し	工期 約2.5ヵ年 ★新校舎へ引越し	1年間 2年間 3年間 4年間	① 仮設校舎着工 ② 仮設へ引越し ③ 解体工事着工 ④ 改築工事着工 ⑤ 新校舎引越し ⑥ グラウンド造成着工 ⑦ 竣工引渡し						
利 点	改築計画	・学校周辺地域への影響は少ないと思われます。 ・新校舎と既設体育館は近接します。 ・職員駐車場は、新校舎に近接します。 ・職員駐車場と来客駐車場を分離配置可能です。				・学校周辺地域への影響は少ないと思われます。 ・新校舎と既設体育館及び武道場は近接します。 ・職員駐車場と来客駐車場を分離配置可能です。 ・職員駐車場は、新校舎に近接します。 ・歩車動線の分離が可能です。				・サブグラウンドの配置が可能です。 ・地域開放しやすい配置が可能です。 ・子どもたちの環境の変化による影響が、少ないと思われます。			
	移行計画	・工事期間中、体育館及び武道場の利用可能です。				・工事期間中、体育館の利用可能です。(渡り廊下利用)							
課 題	改築計画	・正門周辺の歩車動線の交差があります。				・費用面の加算額は、仮設校舎(管理棟)費用(約1億円程度)と想定されます。 ・新武道場兼サブアリーナの整備についても検討します。 ・武道場解体及び新設(約2億円程度)と想定されます。				・費用面の加算額は、仮設校舎(全棟)費用(約2億円程度)と想定されます。 ・武道場改修費(約5千万円程度)と想定されます。			
	移行計画	・生徒には仮設校舎利用時の動線、環境の変化による影響が懸念されます。 ・工期は、仮設校舎(全棟)の運営(約2年)が必要です。 ・学校開放への対応(安全対策、駐車場確保)が困難です。				・工事期間中、武道場の利用不可になります。 ・学校開放への対応(安全対策、駐車場確保)が困難です。							
課題対応策	移行計画	・歩車動線の交差を避ける工夫が必要です。 ・稲築東小学校敷地で、仮設校舎整備の可能性もあります。(稲築東小の進入路が狭い)				・武道場の代替地として体育館を利用します。							

*敷地下敷き図面は、施設台帳のトレース図の為縮尺等に差異があります。

稲築東中学校区の現敷地内での改築について

凡 例		配置 C 案 (現運動場敷地に建設)				
<p>(左図:改築計画)</p> <p>—— 敷地境界線</p> <p>□ □ 既設校舎等</p> <p>▨ ▨ 新設校舎等</p> <p>→ 歩行者出入口</p> <p>→ 車両出入口</p>	<p>(改築計画)</p>	<p>(移行計画)</p> <p>駐車場、グラウンド</p>				
<p>(右図:移行計画)</p> <p>□ □ 既設校舎等 (工事中利用無)</p> <p>▨ ▨ 既設校舎等 (工事中利用有)</p> <p>▨ ▨ 仮設校舎等</p> <p>▭ ▭ 仮設グラウンド</p> <p>▭ ▭ 仮囲い</p> <p>→ 工事車両出入口</p>						
工事概略工程	工期	<p>1年間 2年間 3年間 4年間</p> <p>約3.0カ年 ★新校舎へ引越し</p>				
	<p>既存校舎解体</p> <p>新校舎等建設</p> <p>グラウンド整備</p> <p>体育館改修</p> <p>武道場改修</p> <p>学童保育建設</p>	<p>① ② ③ ④ ⑤</p>				
	凡 例	① 改築工事着工 ② 新校舎引越し ③ 解体工事着工 ④ グラウンド造成着工 ⑤ 竣工引渡し				
利 点	改 築 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・職員駐車場は、新校舎に近接します。 ・仮設校舎整備の必要がありません。 				
	移 行 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・工事期間中、体育館及び武道場の利用可能です。 				
課 題	改 築 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・東側住宅地に新校舎が近接し、学校周辺地域への影響が考えられます。 ・新校舎と既設体育館は、離隔します。 ・調整池を新設する必要があります。 ・校舎、体育館、武道場の一体的な配置が難しいです。(駐車場を含む) 				
	移 行 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドの造成に伴う開発許可が必要です。 ・費用面の加算額は、グラウンド造成、開発許可費用(約2.5億円程度)と想定されます。 ・武道場改修費(約5千万円程度)と想定されます。 ・開発行為完了まで新校舎を使えない可能性があります。 「仮設校舎(全棟)の運営(約1.5年)、費用(約2億円程度)」 ・工期は、グラウンドの利用できない期間(約1.5年)が必要です。 				
課題対応策	移 行 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・東側住宅地から距離を確保する新校舎の配置を検討します。 ・開発許可と建築工事の並行進行可能か協議が必要です。 				

*敷地下敷き図面は、施設台帳のトレース図の為縮尺等に差異があります。